

栄養やまなし No. 86

社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎055-222-8593 平成20年1月

1・2・3月の行事予定

2月1日(金)～7日(木)

「健やか山梨21」健康づくり実践相談事業

県民情報プラザ

2月13日(水)

平成19年度 第3回理事会・幹事会

山梨学院短期大学



目

新年のごあいさつ

会 長 石坂恵子..... 2

支部長 森田園子..... 2

厚生労働大臣表彰 3

知事表彰 4

案 内

山梨県食育推進協議会総会・事例発表会..... 6

「健やか山梨21」健康づくり実践相談事業いきいき健チェック
..... 6

ニュース

平成19年度生涯学習研修会終了 6

特定健診・保健指導者育成研修会開催..... 6

平成19年度（第18回）山梨県栄養士会研究発表会 ... 9

新入会員との交流懇談会..... 10

トピックス

平成19年度にっぽん食育推進事業として「地域シンポジウム」を開催
..... 11

次

今年の抱負 12～15

情報の広場

第54回日本栄養改善学会学術総会参加報告 16

第54回日本栄養改善学会学術総会口演要旨 17

新刊図書の紹介..... 17

栄養士のための常識用語（検査値編） 18

ご存知でしたか？栄養士損害賠償保険について..... 19

計 報

長田正五 先生 20

職域部会のコーナー 21～24

私達ががんばっています 25～26

賛助会員名簿 27～28

事務局からのご案内 28

新年のご挨拶

(社) 山梨県栄養士会 会長 石 坂 恵 子

新年おめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて心新たな元旦を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から本会の事業運営に対し、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

会員の皆様のご協力により、19年度に計画した各種の県民を対象とした公益事業や資質向上のための研修事業も円滑に実施してきております。

昨年にひきつづき、「食育推進」の活動があげられています。そこで若者への食育推進活動を図るため本会が昨年作成した『学ぶじゃん山梨版「食事バランスガイド」』の活用促進と、郷土料理への関心を高め、地域食材の活用や健全な食生活の理解と実践を図ることを目的に、平成19年度につぼん食育推進事業「地域シンポジウム」を山梨学院短期大学の協力により開催しました。栄養士会活動をPRする良い機会になりました。

平成20年4月からの特定検診・特定保健指導に備えて3日間実務者研修会（第3ステップ）を開催しました。この研修会は対象者の検診データを読み解き、検査結果と生活習慣や栄養出納等のアセスメント結果から対象者の状況に応じた代謝の説明及び生活習慣改善の支援と行動変容に至るまでの必要な能力を習得するための研修会で、予想を上回る参加者でした。研修会修了者には、日本栄養士会長名の修了証書が発行されました。今後管理栄養士、栄養士が役割を担い、期待される事業であります。

生涯学習研修会も5年目を終了しました。より高度な専門性を求め、その分野を発展させる能力を持つ会員の育成を考え、最新の専門知識を得て業務安全の向上に務め、専門能力を維持し栄養指導に対応出来る管理栄養士、栄養士が必要と考え今後も資質の向上に向けた研修会にとりくんで参ります。平成20年度カリキュラムも検討がすすんでいます。

第18回、山梨県栄養士研究発表会には多数の参加者があり各職域代表者による活気溢れる発表が行われました。来年の研究発表会にむけ期待をされるところです。

また、新入会員との交流懇談会では、先輩栄養士と話し合う場として、今後も開催を希望する意見が多くありました。このような機会を持つことが会員の退会に繋がればと思います。

最後に今年も皆様のご支援、ご協力をお願い申しあげまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本栄養士連盟山梨県支部長 森 田 園 子

明けましておめでとうございます。十二支最初の節目となる「子」年を迎え、また新たな気持ちでこの年を過ごしたく思っております。旧年中は、皆様に大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて当連盟は、栄養士の地位・身分・業務の向上のため「栄養士法」等の法改正を目指している政治団体組織であり、本年で32年目となります。

御存知のように昨年の参議院選挙においては、支部としても初めての経験であったからでしょうが、残念な結果に終わりました。冷静にみると、栄養士地位向上などへの社会的評価の為にも、当選をするには今回の投票数（6万6千票）を4倍（26万4千票）にする必要になります。

連盟としましては、次回の機会には是非とも政治の場へ栄養士会、連盟の意見を反映してくれる議員を送り込みたいと決意しております。その為には、山梨県支部としても前回の反省である組織力・資金力・知名度不足などを克服しなければなりません。

会員一人一人が、政治に口を挟むことを嫌う気持ちをお持ちの方もいることも承知しております。しかし、栄養士の地位問題が国民全体の食の安全や医療・介護に直結しているという御理解のもと、更なる御協力を切にお願いする次第です。

厚生労働大臣表彰受彰おめでとうございます

～支えてくださる多くの方に感謝の心でお礼申し上げます～

大島保育園 沢 村 和 子

この度、栄えある厚生労働大臣表彰をいただき、身に余る光栄です。受賞に際しましては、県行政関係の皆様はじめ、峡南保健所の杓川先生、県栄養士会石坂会長様、多くの先輩方の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

振り返れば、栄養士の仕事を通して、素晴らしい友人や仲間との出会いがあり、いつも多くの方々に支えられてきました。

子育ての時、当時身延町の望月幸江保健婦様から「幼児の食生活について」の講演依頼があり、人前で話すきっかけを与えていただきました。それを機に嘱託栄養士として約8年、栄養改善推進員さんたちとの出会い、特にかいじ国体で、3日間延べ5,000食の味噌汁を作った楽しい思い出もあります。望月邦子先生の産休代替でさせていただいた保健所の仕事や特養身延荘での体験を通して、多くの方に出会えた事、そして、栄養士として、人として多くのことを学ばせていただきました。

昭和62年、義父の後継者として、大島保育園園長に就任することになりました。戸惑いの中、私は、子供たちのために出来ることは何か？日々成長する子供たちに囲まれながら、食の大切さ、楽しさを伝えていきたいという気持ちから、はじめたのが食育活動でした。

また、平成3年には、県児童家庭課の多大なご協力をいただき、自主組織である山梨県児童福祉施設栄養士会を発足することが出来ました。会の役員は精力的な協力体制のもとに一丸となって活躍しています。

足りないだらけの私が多くの方々に支えられ、大好きな仕事に従事でき、こんなに大きな褒美までいただけたことに改めて感謝申し上げます。そして、一番の協力者である職員たちや家族、主人に対し「いつもありがとう」の心を忘れずにこれからも精進、努力していく所存です。

推 薦 基 準

栄養指導業務功労者

現在、栄養士の免許を有する者であって、常に第一線に在って実際の栄養指導業務を担当し、栄養士としての活動に特に顕著な功績を有すると認められる者で当該年4月1日において次の各号のいずれにも該当するもの。

- (1) 功績に係る従事年数が20年以上で、年齢が50歳以上であること。
- (2) 原則として都道府県知事又はこれに準ずる者の表彰を受けたことがあること。

特定給食施設

給食の管理運営が特に優秀であり他の模範とすべき特定給食施設（国立及び独立行政法人の特定給食施設を除く。）であって、当該年4月1日において次の各号のいずれにも該当するもの。

- (1) 特定給食施設としての実績を10年以上有する施設であって栄養改善のための効果が顕著であること。
- (2) 合理的な給食管理組織が確立されており円滑な運営がなされていること。
- (3) 給食業務の合理化及び喫食者の栄養指導がよく行われていること。

なお、本会からの推薦の場合は会役員歴を考慮させていただいております。



全国栄養改善大会（於：長崎市）にて
栄養指導業務功労者として厚生労働大臣表彰を受彰

- (4) 喫食者中心の給食への配慮及び給食改善のための調査研究がよく行われ、その結果が栄養改善に結びついていること。
- (5) 施設及び設備が整備されており、食品衛生監視結果の成績がよく、かつ、過去に行政処分を受けたことのないこと。
- (6) 原則として都道府県知事又はこれに準ずる者の表彰を受けたことがあること。

県知事表彰

1 推薦基準

現在栄養士の免許を有する者であって、常に第一線にあって実際の栄養改善業務を担当し栄養士としての活動に特に顕著な功績があった者並びに栄養士の資質向上、組織活動等を通じ、栄養士制度の発展向上の為、功績が特に顕著であると認められる者で次の各号に該当するもの。

- (1) 栄養関係業務に20年以上従事した者であること。
 - (2) 年齢は推薦締切日現在満50歳以上であること。
- ##### 2 推薦方法及び表彰の決定
- (1) 保健所長が知事あて推薦する。
 - (2) 保健所長から推薦された者について県が審査し被表彰者を決定する。

知事表彰おめでとうございます

～有言実行～

山梨学院短期大学食物栄養科 依田 萬代

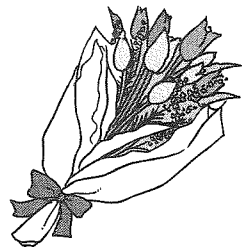
平成19年11月18日に県立文学館講堂において、山梨県知事から「栄養改善功労者」として表彰を受賞しました。この日は、木枯らしが吹き寒い日でしたが日本一高い富士山が甲府盆地から一望でき、すがすがしい気持ちで喜びをかみ締めました。山梨県栄養士会及び山梨県の関係各位より推薦頂きました方々にまずもって心より御礼申し上げます。

思えば、学校を卒業し県外の集団給食1万食を任され3年半、その後縁あって、山梨学院短期大学に約30年勤務することができました。短期大学では、研究と教育が最優先に求められ日本栄養改善学会、日本家政学会、日本調理科学会に加入し、短大の授業と関連し日々努力し発表もしました。

皆さんがご存知のように山梨学院短期大学は「食に関わる専門的な知識・技能・実践力を備えた栄養士の育成」を教育目標に打ちたて、昭和21年6月に創立しました。時代は変わっても栄養士の養成校として地域に開かれ名実共に短期大学は躍進しています。そんな中にあり栄養士の就職活動の支援、生涯学習、調理技能などに力を注いでまいりました。山梨県栄養士会をはじめ食物栄養に携わる多くの方からご指導、ご鞭撻を賜り時には支えられ今日までやってきました。知事表彰は山梨県栄養士会の誇りとするところでもあり、栄養士の地位向上に多いに貢献するものに値します。

特に山梨県栄養士会よりホームページの「山梨の郷土食」を任され、多くの県民の皆様から貴重な資料の提供を受け、山梨日々新聞社から『山梨の郷土食』の著書も出版しました。

これからも栄養士養成校の一員として「好奇心・探究心」を忘れず努力いたしますのでどうぞ宜しくお願い致します。



～受賞を機に振り返ると～

笛吹市石和保健福祉センター 橘田 貞江

栄養士を職業と考えはじめたのは、中学生の頃のような気がします。

私が、なぜ栄養士を目指したか当時のことだから思いつきだったかもしれませんが、でもいまだにその時の状況が頭に浮かびます。

都留市生まれの私は、毎日登下校には30分から40分かけて豊かな自然の中を歩きました。当時は、交通の便も悪く、物は豊富といえず多くの家庭は、節約をする時代で、何処に行くにも歩くのはあたりまえ、そのためか数人でのグループ行動がほとんどでした。ファミリーレストランやコンビニはもちろん自動販売機もない時、10代の私は将来のことを友達と語り合う場所は、橋の下や、うどん屋さんでよくおしゃべりをし、あれこれと夢や不安で心が揺れ動く時期に、職業として栄養士をなぜか考えていたような気がします。

当時自分での栄養士像は、献立作成、調理が私のイメージで、そのほか業務は見えていませんでしたが、目標とする夢のため短期大学に入り専門性を高め、実践ができる教育を受けましたが、栄養士として社会にでる不安を感じはじめました。

卒業後、学校給食からスタートして病院給食、保育所、行政と歩んできました。なかでも病院に勤務していた時期はドクターの好意もあって東京の大学病院に行かせていただき、その時はカルチャーショックを受けたものでした。

現在は、行政栄養士として市民が健康で豊かな人生が過ごせるようにと仲間と学習会をもちながら事業を展開しています。20年度からの「特定健診・特定保健指導」を実施することになり、なお一層縦、横の連絡をとりあい、スキルアップし栄養士として存在感のある仕事を続けていきたいと思っています。

また、自分が一市民となったとき、今までの活動がどれだけ市民に、根付かせることができたかを感じられた時こそ栄養士をしてきてよかったと思う時かもしれません。そんな時期が来ることを楽しみにしています。

～20年を振り返って～

地域活動部会 日吉 千恵子

この度は身に余る栄養改善功労賞をいただきありがとうございました。

ご推薦をいただいた県・栄養士会・峡南保健所関係各位をはじめ、身延町福祉保健課・保健師さん・社協・地区食生活改善推進員の方々・それ以外にもたくさんのサポートして下さった方々に心から感謝いたします。

結婚後、家事育児に専念していた私が栄養士活動を再開したきっかけは、かいじ国体前に行なわれた在宅栄養士再教育の研修会に参加した事でした。

研修会ではすでに在宅で活躍されていた方々、そして峡南地区で活躍されていた栗田先生、沢村先生と出会い、大いに刺激されたことを覚えています。またこの出会いが次のステップとなりました。沢村先生が園長として専念することになり、後任として私を身延町に推薦していただき、身延町嘱託栄養士として仕事をさせていただくようになり現在に至っています。この仕事に導いていただいた沢村先生にはとても感謝しております。振り返ってみるとアツという間の20年でした。

結婚前は東京の家電メーカーの電子レンジ開発料理、お客様向けの料理教室などに携わっていたので、町での仕事は経験のないものばかりで、毎日が勉強でした。

乳児検診、マタニティ教室、各種健康教室、検診事後栄養相談、介護教室、親子料理教室、食生活改善推進員伝達講習、養成講習、訪問指導など多種多様な知識も必要となり、対象者の気持ちを引きだしていく話術の必要性も痛切に感じました。始めたばかりの頃は、あれもこれも伝えたいと頭でっかちの指導になりがちでした。

そんな時、学生時代に母校の学長だった香川綾先生がいつもおっしゃっていた言葉を思い出しました。

「自分自身が実行できない様な食事指導をしてはいけない。」これが今も私の仕事の原点です。

在宅として時には目に見えない部分の自宅での資料作り、献立作成等が評価してもらえないジレンマもありましたが、若い時は子育てをしながら、現在は91歳の姑の介護をしながら仕事ができる環境に感謝しております。

最近では、男性料理教室、親子対象の朝食についての講習会、メタボリック教室など、時代の変化に併って仕事の内容もさらに多種多様になってきています。

知識の伝達だけでなく、対象者が継続して自ら行動変容していけるような手助けができるよう、これからも更に努力していきたいと思っています。

そして、この賞を励みに、次の後継者が現れるまでもう少し頑張ってみようと思っています。



健やか山梨21推進大会にて 栄養改善功労者として知事表彰を受彰
(写真右から 日吉千恵子さん、依田萬代さん、沢村和子さん（大臣表彰伝達）、橘田貞江さん）

☆なお、4名の受彰の皆様から山梨県栄養士会に過分なご寄付をいただきました。会の運営に有意義に役立てたいと思います。ありがとうございました。

案内

山梨県食育推進協議会総会・事例発表会

日 時：平成20年1月18日（金）午前10時

場 所：ぴゅあ総合

内 容：（1）実践事例発表

①山梨県栄養士会

②山梨学院短期大学

（2）各団体の取り組み紹介

（3）県の取り組み状況

（4）意見交換

ニュース

平成19年度生涯学習研修会終了

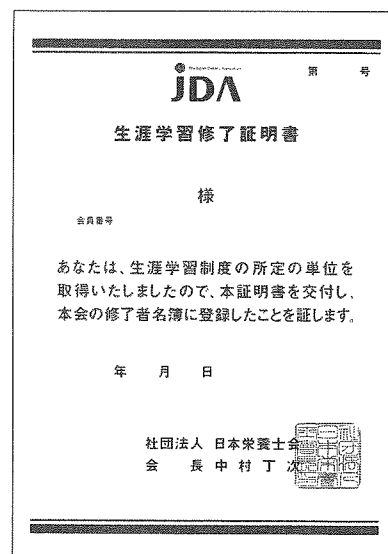
平成15年に始まった生涯学習制度による研修会が、平成19年11月10日をもって、5年間の一区切りとなりました。

会員の皆様には管理栄養士・栄養士として必要な知識や技術を身につけて、スキルの向上を図る機会となりましたでしょうか。この間の生涯学習参加者は延べ290名の参加者に達しています。

なお、修了証書の発行を行なっていますので、必要単位を完了している方は事務局までお問い合わせください。

今、我が国は資格社会です。管理栄養士・栄養士という免許資格は、一度持つと生涯その免許資格を失うことはありません。

しかし、その資格は常にふさわしいレベルが要求されます。来年度も、引き続き生涯学習研修会に多くの会員が参加されますことを切に願っています。



「健やか山梨21」健康づくり実践相談事業 いきいき健康チェック

日 時：平成20年2月1日～7日（12時～16時）

場 所：情報プラザ1階ロビー

内 容：パソコンを使った栄養相談など

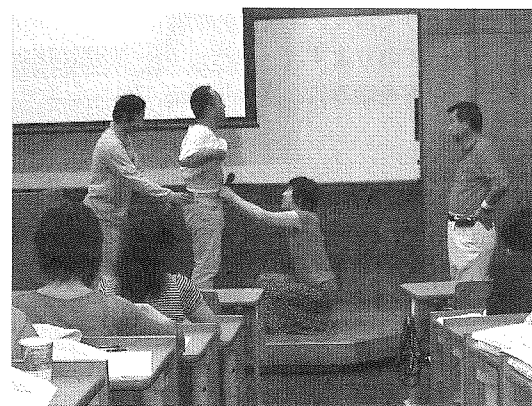
※各職域より毎日2名が指導にあたります。

特定健診・保健指導者育成研修会開催

職域別修了者内訳数

学校4 研究7 地域27 福祉26 行政13 集団3

病院36 合計116名修了



研修会の様子



研修会の様子

保健指導実践者育成研修会 参加者研修評価アンケートのまとめ

9月1日プログラム

科目1：

たばこ対策

科目2：

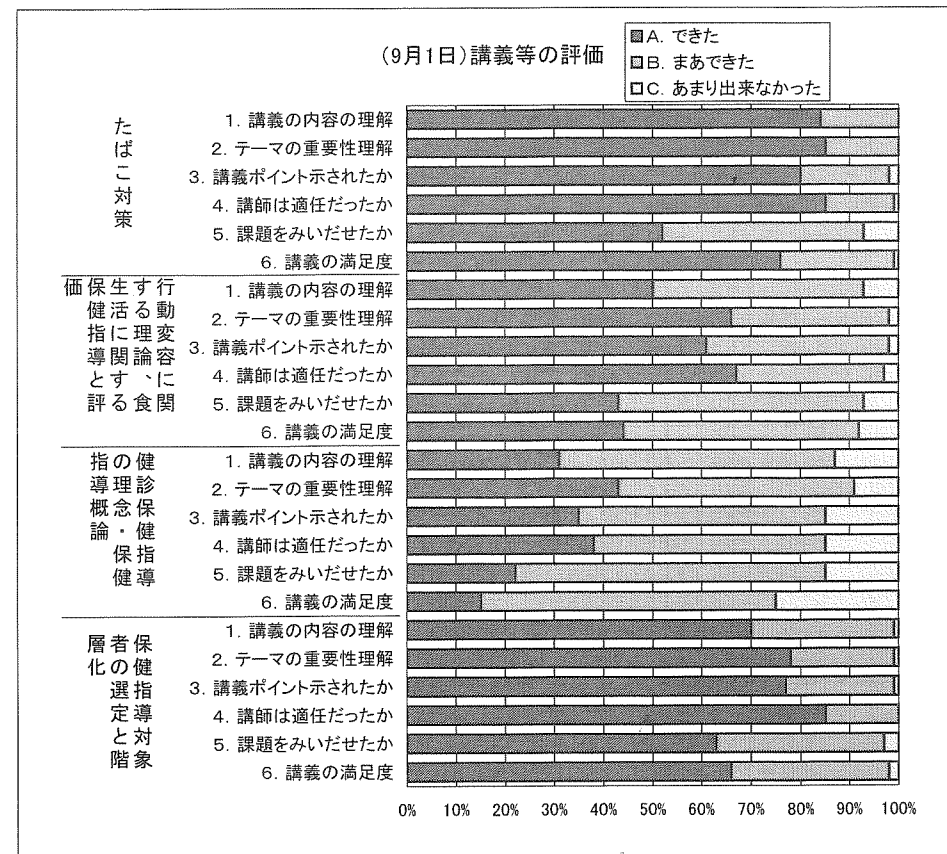
行動変容に関する理論、食生活に関する保健指導と評価

科目3：

健診・保健指導の理論
（メタボリックシンドロームに着目する意識）

科目4：

保健指導対象者の選定と階層化
（基準と方法）



9月15日プログラム

科目1：

標準的な健診・保健指導プログラム

科目2：

「メタボリックシンドロームと重症化予防のメカニズム」
「健診結果と身体変化・生活習慣の関連」

科目3：

身体活動・運動に関する保健指導
ーエクササイズガイドの活用ー

科目4：

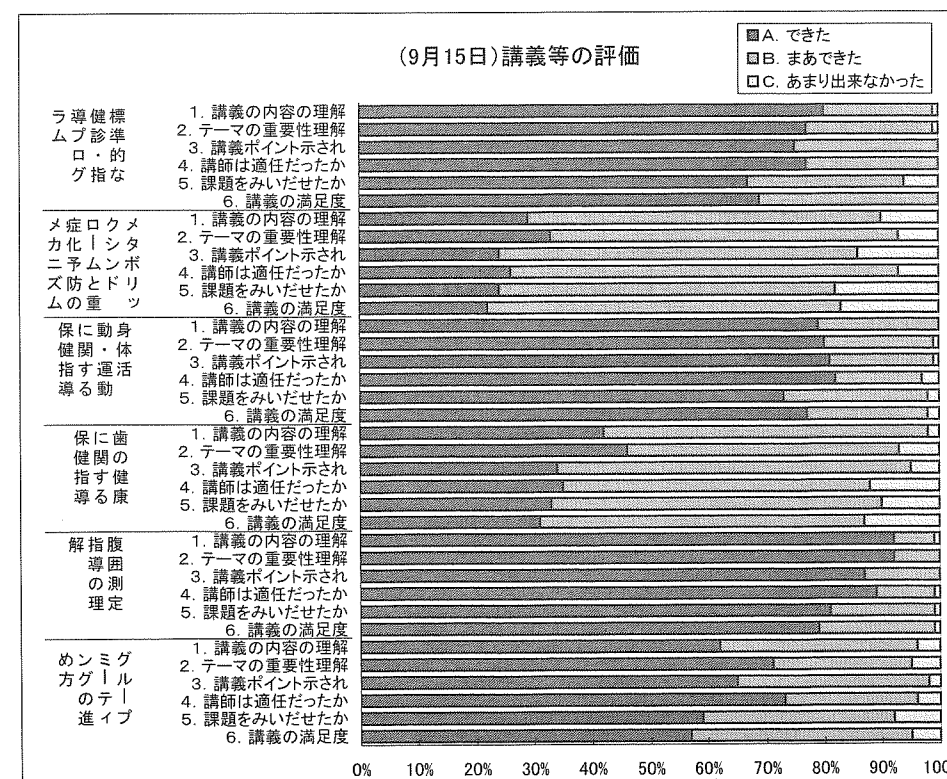
歯の健康に関する保健指導

科目5：

腹囲測定指導の理解

科目6：

グループミーティングの進め方



9月29日プログラム

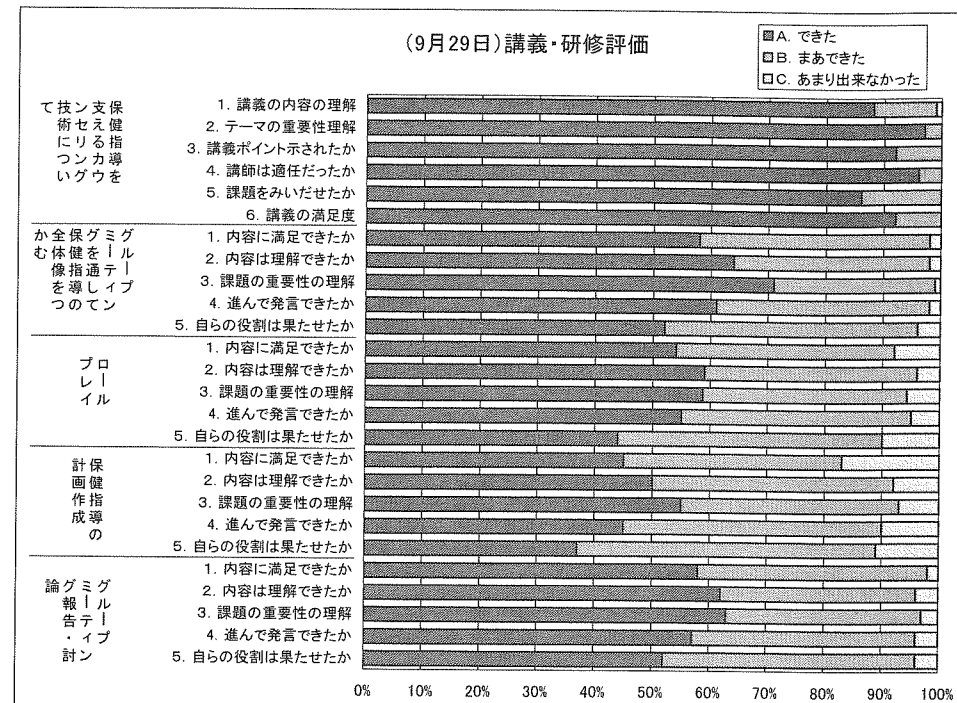
科目 1 :

保健指導を支えるカウンセリング技術について

科目 2 :

グループミーティング

- グループミーティング全体の評価
- ロールプレイの評価
- 保健指導の計画作成の評価
- グループミーティング報告・討論

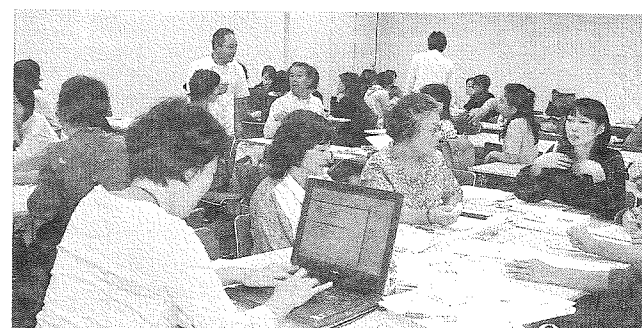


☆研修会を受けての感想を一部ご紹介します。

- 指導することに全く自信が持てず、講義を受けても不安が大きくなるばかりでしたが、研修を受けて、できるかな？と思えるようになりました。
- 栄養士の使命の再確認や具体的な研修で、とても参考になりました。
- ロールプレイなどで実際に検査になり、見えたことがあり大変勉強になりました。
- 今まで自分がしていた指導（自分ばかりが話してしまう、知識の押し付け）を反省することができた。
- ほかの管理栄養士とグループミーティングを通して意見交換ができてよかった。
- 3回の研修会では不完了なので、再度お願いします。
- 保健指導の難しさを感じ、真剣に学ぶことができました。
- カウンセリング技術に、もう少し重点を当てたら良かったと思う。
- 演習をもう少し盛り込んでほしいと思いました。
- 講師の話し方があまりくだけすぎても、研修・講義内容への受講者の関心低下を招くように思います。
- 2日ずつに分けて研修日を設けてほしかった。都合が悪く参加できない場合もあるので。
- グループミーティングの進め方を全体で一度説明してもらえると理解しやすかった。
- ファシリテーター自身がよく理解していないようで、進め方を理解してグループワークが発案するまで時間がかかりとまどった。
- 保健指導の実践でよい実践をみせてほしかった。
- グループミーティングの具体的なプログラムを組み込んでほしかった。



グループミーティングの様子①



グループミーティングの様子②

平成19年度（第18回）山梨県栄養士会研究発表会（生涯学習認定1単位）

日 時：平成19年12月8日（土）10：00～

場 所：山梨学院短期大学

内 容：各職域部会より研究発表 7題

発表要旨・各発表者の発表風景の写真

発表要旨

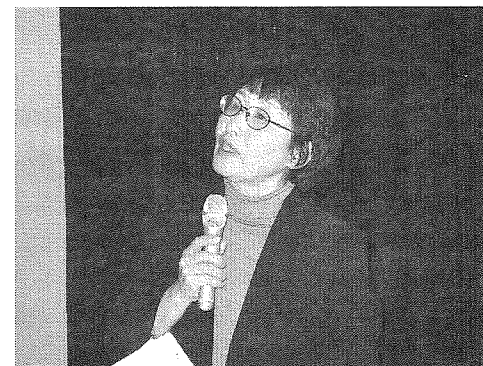
(1) 学校健康教育委员会

笛吹市立一宮中学校 中村みどり

演題：「学校給食における衛生管理について」

「安全な学校給食をめざして」

一宮中学校の給食は単独校による調理方法で、栄養士1名、調理員4名で、生徒・職員 合計396食を調理している。今回は本校の保護者に給食試食会で報告したものをもとに、学校給食がどのような衛生管理のもとで作られているかの実態を説明。



(2) 行政部会

山梨県福祉保健部 健康増進課 天野 久美

演題：「山梨県生活習慣病実態調査を実施して」

平成18年度に実施した調査で、男女ともに40歳代からメタボリックシンドローム該当者が増加することが明らかとなった。今後、該当者が増加する前の年代にターゲットを当てた取り組みを行っていく必要性について発表。



(3) 研究教育部会

山梨学院短期大学 食物栄養科 山口 国子

演題：「低強度トレーニングおよび

BCAA摂取による筋機能低下の予防」

先行研究により、低強度のトレーニングが不活動時の筋持久機能の低下を予防できることが示されている。本研究では低強度トレーニングとBCAA摂取が不活動時の筋機能低下に与える影響について検討した。

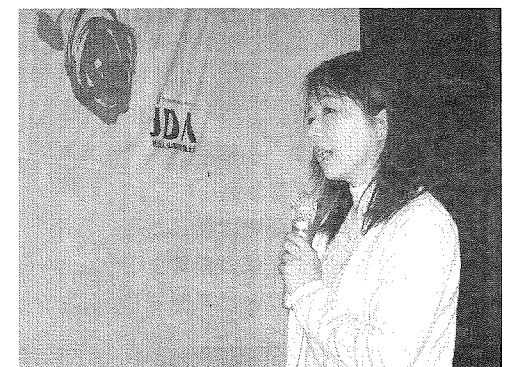


(4) 地域活動部会

中北支部 赤澤 明美

演題：「企業主催の『食育イベント』に参加して」

地域における「食育バランスガイド」普及啓発を主体に、
株オギノにおいてモデル的取り組みに参画した。生活習慣
やメタボリックシンドロームの予防を見据え、日本型食生
活の実施を促進するための活動について報告。



(5) 病院部会

宮川病院 桂原由味子

演題：「経腸栄養剤の比較について」

多種多様な濃厚流動・栄養剤を施設内や在宅で選択するため、各メーカーの製品を試し、その製品の特徴や味について比較した。



(6) 病院部会

社会保険 鯉沢病院 吉原 京子

演題：「当院でのNST活動と栄養管理計画書の活用」

平成18年4月の診療報酬改定に伴い、栄養管理実施加算が新設された。当院では、NSTを同年3月より立ち上げ、4月1日より算定した。

今回は、その活動を管理栄養士として取り組んだ点について報告。



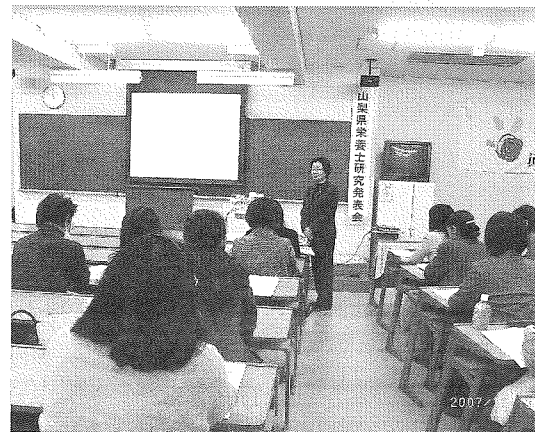
(7) 福祉部会（老人）

養護老人ホーム 功德会 笠井千恵美

演題：「QOLの向上と病態対応について」

生活習慣病予防を考慮した食事提供により、健康寿命の延長が図られるよう努めている。

また、病態対応食による個別対応の実施の中でICFの概念に基づき、他部署との連携強化について発表。



新入会員との交流懇談会

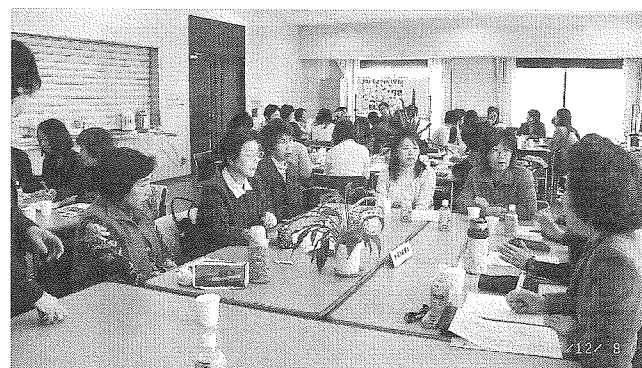
日 時：平成19年12月8日（土）11：40～

場 所：山梨学院短期大学

内 容：昼食会・グループ懇談会

新入会員が日頃疑問に感じたり、とまどったり、悩んでいる事を先輩の栄養士と話し合い、今後の業務に生かす場として開催した。

68名の参加者があった。



交流懇談会の様子

No.86 H20.1

トピックス

平成19年度につぼん食育推進事業として「地域シンポジウム」を開催

—学ぶじゃん—

山梨版食事バランスガイド「知っていますか？郷土の料理と食材」

山梨県内の高校生及び大学生を対象に「学ぶじゃん山梨版食事バランスガイド」を活用したシンポジウムを開催し、食事バランスガイドと郷土の食材及び料理の普及・啓発に努めた。

日 時：平成19年9月22日（土）9：30～12：00

場 所：山梨学院メモリアルホール

参加者：約500名

内 容：地域シンポジウム

学ぶじゃん山梨版食事バランスガイド

『知っていますか？郷土の料理と食材』

基調講演

テーマ「ほうとう」に見る小麦粉食文化の形成と伝承

講 師：山梨学院短期大学 教授 松本晴美 先生

パネルディスカッション

テーマ「郷土料理の継承と地域食材利用の新しい展開を考える！」

司 会：山梨学院短期大学 教授 田草川憲男

「地域食材・郷土料理継承のための方策」

山梨学院短期大学 専攻科食物栄養専攻1年代表

「山梨版食バランスガイド作成のコンセプト」

山梨県栄養士会 地域活動部会 副会長 福永千賀子

「地域食材にこだわった駅弁開発への取り組み」

株式会社 丸政 代表取締役社長 名取政仁

「地域食材の掘り起こしと地産地消」

（財）シルクの里振興公社 事務局長 飯室隆人

「地域食材を活用した新食品・加工品の開発」

山梨学院短期大学 教授 仲尾玲子

参加対象：一般住民、県内の高校生・大学生、栄養士など



新感覚ほうとう紹介

甲府で「地域と食」を考えるシンポジウムを開催。山梨版食事バランスガイド「知っていますか？郷土の料理と食材」を活用したシンポジウムを開催し、食事バランスガイドと郷土の食材及び料理の普及・啓発に努めた。

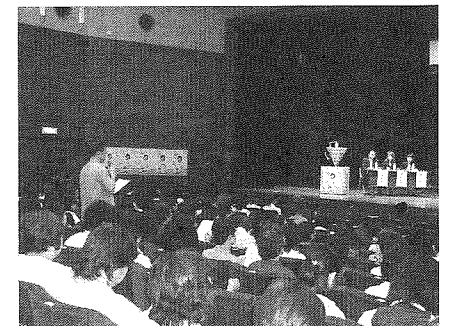
H19年9月22日 9：30～12：00
学ぶじゃん山梨版食事バランスガイド
「知っていますか？郷土の料理と食材」
於：山梨学院短期大学 メモリアルホール
(山梨日日新聞 H19年9月23日より)



会長あいさつ



パネルディスカッション



会場の様子



私の近況

金子 義 憲

平成16年3月31日に、中央病院を最後に県庁を退職致しました。

身延保健所を振り出しに中央病院までの33年間、行政と医療の栄養業務に携りました。50歳を過ぎて体調をくずし定年までには5年を残しての退職でしたが、最後まで業務を全うできなかったことが残念であります。

退職後は、いづらか体調が回復したので、2年前から山梨秀峰調理師専門学校非常勤講師として、「栄養学」「食品学」を担当し週に1～2回講義をしています。自分が学んだ頃とは一歩進んだ担当課目の内容を新たに勉強しながら、若い学生さんを相手に戸惑ったり、新鮮な刺激を受けたりしながらの毎日を送っています。

不惑の年から、五十路を過ぎ今年還暦を迎えます。この年になると「今年は〇〇をやるぞ」といった気概を持つようなことは無くなりました。

体調と相談しながら「何ができるか」を自分に相談し、少しでも社会の役に立つような生き方をしていきたいものだと思います。



少しずつ前進

渡 邊 富 雄

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。あっという間に60歳!!還暦を迎える年になりました。実年齢を意識すると何となく気が重い。しかし、還暦を新たに再スタートする年だと思うようにしよう!!

話は変わりますが、今年は十二支ある干支が一巡して、一番最初の干支である「子年」になるわけですが、実は我が家は、私の曾祖父・祖父・父・私が長男で子年、私の一人娘も長女で子年、又、今年長女が出産予定で誕生してくる孫も子年になるわけです。直系・血族で6代の子年って、ギネスブックものでしょうか?ちなみに私の母も長女で子年!!

新しい年を迎えるにあたり、さしたる抱負もあるわけではありませんが、今迄培ってきた事・学んできた事が何かの形で役に立てばと思っています。又、年をとるのではなく、良い形で年を重ねていければと思います。



5回目の子年を迎えて

石 上 三千子

新年明けまして、おめでとうございます。

年女ということで…とお話をいただいたのですが、今までは自分の干支の年は、年賀状の“ねずみ”に愛着を感じるくらいでしたが、やはり60歳を迎える年は、感慨深い思いがあります。第一に、長年勤めてきた甲府市役所を、正規職員としては最後の年になるということです。ここ1～2年息切れがしていますが、只々かけ足で通り過ぎた気がしました。今年は、自分が長い間勤めさせていただいた間に得た知識を後輩に伝えていく事に力をそそぎたいと思っています。

自分の仕事をふり返った時、現代の子どもたちの、恵まれた食環境の陰の部分に食生活のひずみがあるように見え、今の小・中学生が私たちの年令になる頃の状況を見ると、ちょっと寒気を覚えます。一年間の食事の内の6分の1だけの学校給食ですが、食事は病気をつくることもできますし、病気を治すこともできます。健康であることの大部分は、正しい食事に支えられているような気がします。そんな思いで、少しでも子どもたちに食生活の大切さと、家庭での役割が重要であることを、発信させていきたいと考えています。



還暦を迎えて

沢 村 和 子

新年早々、60歳を迎える。幼い時から、「全国の人が祝ってくれるから、いいね。」と誕生祝をしてもらったことがなく、おせち料理を食べてきた記憶しかない。なんと年月が経つのが早いことか、もう60年も生きてきたかと思うと、時間を無駄に過ごしてきたことが悔やまれる。今年は、長年の念願だった主人が園長を勤める大野山保育園と私が園長を勤める大島保育園が統合することになり、新園舎が完成する良き年でもある。メタボリックシンドロームになりつつ体にムチ打って、一日一日を大切に暮らしていきたいものである。園を利用してくださる子供たちをはじめ、保護者の皆様方、お世話をさせていただく私たち保育者、地域の皆様との交流をはじめ温もりある保育園を目指し、少しでも社会に貢献できるよう、一歩ずつ歩んでいきたい。

還暦を迎えて

日 向 純 子

新年明けましておめでとうございます。

月日のたつのは早く、5回目の子年です。栄養士として仕事を始めて約40年、来年は定年を迎えることとなりました。

振り返ってみると、私は何をしてきたのだろうかと思ふすることばかり。

多くの先輩、友人のおかげで今までやってこられたのだと感謝の気持ち一杯です。

めまぐるしく変化する社会情勢の中で栄養士に期待されることも多く、レベルアップしていくことが必至となっています。

私事ですがここ数年思いがけず病を得てしまい、改めて健康の大切さを感じています。

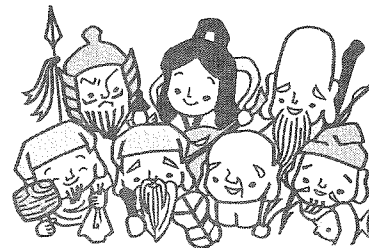
限りある人生、少しでも社会に貢献できるよう、スキルアップに努力していきたいと思っております。



還暦を迎えて

笠 井 恵美子

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。年月が流れるのは早いもので、もう還暦を迎える年になってしまいました。今は亡き、父と母がその年だった頃を思い出し、懐かしさを感じる今日この頃です。思えばまだ私が幼かった頃、家族一緒に食事をしていた時のことです。たまたま嫌いなものが食卓に出て食べれないでいると「何でも食べないと病気になってしまうんだよ…」と父に言われたことを思い出します。今、思えば親は子どもが病気になるまいと何でも食べて、健康な体になってほしいからこそその“食教育”だったと思います。親が食事を通して“食”に対する“しつけ”や“食べ方の作法”等、自然に教えられていた気がします。現在、学校給食に携わっている訳ですが、これからも“食”に関する知識を高め、正しい食事のあり方や望ましい食生活が出来る子どもになってほしいと願ひ、日々頑張っていきたいと思っております。



今年の抱負

長 田 三香子



新年おめでとうございます。

特別養護老人ホーム「らくえん」に勤務して1年3ヶ月となりました。施設は、ユニットケアで全個室です。当初は病院での経験しかない私にとっては、何もかもが新鮮に思え日々学ぶことばかりでした。

最初に、栄養ケア・マネジメントに取り組み、手さぐり状態で多職種協働にて試行錯誤しながら始めました。

毎日毎日入所者と関わりを持ち、少しでも栄養状態を良くするように献立内容を検討し、食事形態を見直し、介護職員と情報を共有し食事介助の関わり方や口腔ケアを日常行なっています。利用者にとって食事が一番の楽しみであり、すべての機能の刺激となることを全職員に理解してもらうように取り組んでいます。

食事の配膳の仕方や盛り付けの仕方、また食器を陶磁器にしていこうと等検討しているところです。

今年は、既設の特養の隣接地に地域密着型サービス施設(認知症対応型グループホーム、介護老人福祉施設)を4月に開設するため諸準備を進めています。

食事は、入所者にとって楽しみの一つであるため心のこもったおいしい食事の提供を目指し、多職種と協働して入所者一人ひとりの立場にならうと考えていかなければなりません。

そのため、ユニットケアの特性を生かし「小規模な居住空間で家庭的な雰囲気作りをし、なじみの人間関係を形成して、住み慣れた地域での生活が継続できる」支援をさせていただき、よりよい生活が送れるように努力していきたいと思います。

新年を迎えて

川 窪 真由美

新年おめでとうございます。

会員の皆様のご活躍を心よりお喜び申し上げます。

私は、現在介護老人福祉施設に再就職し、10年目を迎えるようとしています。

皆様もご承知のとおり、平成17年より栄養ケア・マネジメントがスタートし、入荘者一人一人の栄養管理の実施や、給食管理業務での献立作成、発注書の作成等日々多忙な毎日を送っています。

又、入荘者の栄養管理には、特に注意が必要であり、他職種の職員とのコミュニケーションを大切に食事介助時のお手伝い等を行いながら、入荘者の状態を確認しています。

自分自身の健康のため、ストレス解消のため、バレーボールをし、汗と一緒に流せば、翌日、又元気に仕事が出来るといふような気がしています。

今年の抱負

沓 川 洋 子

今年、私は年女か!?なんだか、言われて気がつきました。ということは、〇〇才?さて、私はいくつに見えるでしょう? 24才?「だったらいいな!」36才? 48才? いったい、私は、年相応に見られているのか。年相応の中身が備わっているのか。ちょっと疑問であります。

大学を卒業して、山梨に帰って来て、毎年大学の同窓会がありますが、「子どもが小さくて…」という理由で、ずっと出席できなくて、その子どもたちも大きくなり、これからは、自分の時間をとっていたら、今度は、「両親のめんどろを見なくてはならないから」とまた出席できなくなっています。

20年なんて、あっという間ですね。

高齢化社会、医療制度改革、格差社会、行財政改革、人員削減、等々厳しい情勢の中、めまぐるしく変わる社会情勢の中、一番踏ん張らねばならない年代になり、ストレスも感じつつも、やはり、私がやらねばならないと気を引き締めていきたいと思っています。

栄養士としては、やはり、子ども達の食生活をなんとかしていかなければ、将来が不安です。

多くの先輩方や後輩、仲間と一緒に考えながら、様々な問題に取り組んで行きたいですし、今年もまだ仕事が続けますよう、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

平成20年 抱負

平 良 五 月

食の大切さを感じ学びたいと思い、8年続けた仕事を辞め、短大に入学して昨年卒業。

栄養士として働くのは一年にも満たないです。新人として、就職してからただ必死に仕事に取り組んできた毎日。初心に戻って考えたとき、心のこもった食事を提供したいという気持ちを思い出しました。

現在、調理を実際にし、時間に追われる毎日を送っているのですが、食べ物には作り手の気が入るという話を聞きました。真心を持って調理をするのであれば、食べる側にプラスの気が入るということです。栄養的な面を考え提供するのは栄養士として当然のこととして、心のこもった食事を提供する、単純なことですが、このことを忘れないようにしたいと思います。また、そのためにも健全な精神を持ち続けることは大切なことのように思います。常に人としての精神は何かを考え、人としての心を持ち続けるためにも、忙しさに流されるのではなく、その中から日々心を磨いていきたいと思っています。

今年の抱負

石 井 紀久子

本年は年女ということで、気分を一新して、何か目標をもって、習得出来るところまで成し遂げようと思っています。

子育て中の私にとって、この目標は簡単そうですが非常に困難であります。

病院栄養士として十数年経ちますが、管理栄養士を取り巻く時の流れは急速に大きく変化しています。それには最新の情報を得、早急に対処することが大切だと日々実感しています。まずは精力的に取り組んでいく事から始めていきます。あとは周りの方々にご迷惑がかからないように健康体でいること。

今年も皆さんにとって、すばらしい一年でありますことを心からお祈り致します。

今年の抱負 ～今思うコト～

広 瀬 希

新年あけましておめでとうございます。時が経つのは早いもので、私が栄養士になって仕事をし始め、もうすぐ4年目を迎えようとしています。

今でこそ仕事に慣れてきたものの、初めのうちは今の仕事に戸惑いを感じました。それは、「栄養士なのに栄養士らしい仕事ではないのでは?」と言う疑問を心に抱いていたからです。

でも今思えば、この仕事を選んで良かったと思っています。それは何故かという、特に私の職場では重要とも言える「信頼関係」というものを身につける事が出来たからです。

確かに病院や福祉施設などにいた方が栄養士としてのスキルは確実に上がるのではないかと思います。では、なぜ私が今の道を選んで良かったかと言うと、どんな仕事をしててもスキルよりももっと大切なコトがある事に気が付いたからです。先ほども書きましたが、私の職場では信頼関係がものをいう環境。どんな人とも信頼関係を築く事が出来る今の仕事は私自身を成長させるものであると思います。

私の様な仕事以外でも、信頼関係がなかったらどんな仕事であろうとやりづらい環境になってしまうと思うからです。

私自身の栄養士としての基本的なスキルはまだ未熟かも知れませんが、しかし、例えば管理栄養士業務である栄養指導における患者個人とのラポールの形成。これは「信頼関係を築く」という意味合いです。それを踏まえて考えると、私は栄養士のスキルとして最も大切な事を学び得たと言えます。でも私はまだ自分は学んでいる途中だと思っています。これから先、多くの事を学びそれらを応用し、生かせるようにして行きたいです。

末筆になりましたが、みなさんが今年一年を実りある一年になるよう祈念しつつ筆を置きたいと思います。

ご拝読ありがとうございました。

今年の抱負

堀 内 久 美

私は、栄養士としての仕事に就き3年目に入りました。この間、様々な困難を乗り越え、又、厳しい試練もせざるを得ませんでした。けれども、数多くの事を教えられました。与えられた予算内で生徒達の嗜好や栄養価、そしてボリューム感を出すという献立に日々頭を悩まされました。更には、地産地消を取り入れることも忘れてはなりません。このような状況下で最も大切な食事摂取基準に乗っ取って、かつ安全であり食中毒などの事故を起こしてはならないという信念を肝に銘じて今年も頑張っていきたいと思います。

その他の子年生まれの方々

(順不同)

白 須 そ の

宮 澤 弘 江 甲府市福祉部

望 月 寿美子

三 浦 百合香 富士吉田市立病院

竹之内 恵美子

野 田 睦 子 南西保育園

飯 野 千代美

韮崎東が丘病院

三 枝 美 紀 韮崎市立病院

清 水 美津子

長 田 加奈子 あら川保育園

野 崎 有 子

養護老人ホーム大鶴楽生園

小笠原 愛 富士桜学園

新 谷 洋 子

萩 原 千 晶 スカイコート勝沼

望 月 理 恵

大塚保育所

深 沢 恵 利 ふじざくら支援学校

志 村 好 美

特別養護老人ホーム福寿荘きらきら

根 津 淑 美 山梨リハビリテーション病院

樋 口 陽 子

社会保険山梨病院

市 川 未 来 特別養護老人ホームみのぶ荘

武 井 さおり

特別養護老人ホーム風林荘

深 田 美 緒 忍野小学校

小 野 孝 美

身体障害者養護施設はなまし寮

遠 藤 愛 果 特別養護老人ホームみのぶ荘

田 中 みゆき

笛吹市役所

伊 東 みゆき 甲府城南病院

第54回日本栄養改善学会学術総会参加報告

NPO法人日本栄養改善学会評議員

大 木 由 枝

平成19年9月19日（水）～21日（金）長崎市ブリックホール及び長崎文化放送ホールを会場として、第54回日本栄養改善学会学術総会が開催された。

学会評議員として、評議員会と学術総会について報告したい。

【評議員会について】

評議員会は規定により、NPO法人日本栄養改善学会総会開会の前に開かれた。

本年度評議員会で最も大きな報告となるのは、理事長の交代である。

奥恒行理事長（当時）が平成19年10月30日満期退任し、伊達ちぐさ奈良女子大学教授が11月1日から新理事長に就任した。本学会初の女性理事長である。

奥恒行理事長のご尽力に感謝すると同時に、伊達ちぐさ新理事長のもと、学会の更なる発展を期待するところである。

次会の学術総会は、2008年（平成20年）9月5日～7日神奈川県鎌倉市で15th international congress of dietetics 直前に関連学会として開催され、2009年は北海道札幌市が予定されている。

学術総会は全国の都道府県で開催されるが、開催県により経費が大幅に異なる問題が浮上し、開催マニュアルを作成する運びとなった事が報告された。

【学術総会について】

学術総会のテーマは、「和華欄文化のことはじめ－西洋医学伝承の地長崎から食生活維新を－」とされ、特別講演・文化講演・教育講演・シンポジウム等の他、740題を越える学会員による一般講演が行なわれた。

来年から開始される特定保健健診を時節の話題とし、特別講演では「生活習慣病対策における栄養指導専門家の役割と今後の展望」、シンポジウムでは「健康診断における保健指導の意義と管理栄養士の関わり」が、それぞれ論題の1つとして組み込まれていた。

今回は学会出席者として、教育講演特長崎県立シーボルト大学大学院細胞生化学教授 四童子好廣先生の「将来に役立つ栄養学：個人別栄養学」を報告したい。

この題名から想像する内容は、遺伝子多型による体質に関する研究であり、既に繰り返し聴講したと印象を受ける。しかし、この講演は、「人間の固体差をヒトゲノムの塩基配列の違いで理解する基礎研究の現状を紹介し、大幅に立ち遅れている日本の管理栄養士教育の危機に一石を投じる事。」が、目的とされている。

講演はゲノムの語源から開始された。『ゲノムとは全ての

遺伝子を指し、遺伝子「gene（ジーン）」に総体（全て）を表す「ome（オーム）」をつけて、ゲノム「genome（ジーン→ゲノム）」とし、その人のもつ全ての遺伝情報を示す。』と説明があり、遺伝子の構造式が示された。続いて遺伝情報のメカニズムが、アミノ酸を規定する塩基配列、塩基配列がコード（code）するたんぱく質合成をもって解説された。

原核生物・哺乳類・実験用ラット・チンパンジーそして人間の遺伝子配列をスライドで比較し、人間の医学・薬学・保健学の基礎実験に常時利用される実験動物であるラットと、私達人間のゲノムが大きく異なる事が示され、人間の栄養学に実験動物の結果を当てはめて良いのかとの見解が提示された。

ゲノム上ではほとんど異なる人間とチンパンジーの間でさえも、実際は全く異なる生物である。ヒトゲノム解析をせず、実験動物の結果を単に当てはめる危険性が語られ、人間の代謝を論ずるには、その人間の遺伝子解析が必要であると説かれた。

しかし、これに対し、遺伝子検査やゲノム解析はその人の秘密を暴露しプライバシーを侵害しているのではないかと批判を受け、批判をする人はマスコミ関係や一般市民のみならず、医師や生命科学研究者の中にもいると示し、現に日本ではゲノム科学の成果を生かした食生活指導などは、一部の商業主義的な組織・団体を除いて、あまり取り組まれていないのが現状であると報告された。

その一方、ヒトゲノム計画やハップマップ系各のような国際的ゲノム解析事業成果を人の健康と福祉に役立てるためには、医療などの非日常的な領域だけでなく、「食生活」という日常的な領域での基礎的な研究が必要である事が認識されている。「食生活」という日常的な領域に役立てる時、対象者の遺伝子の型を知らずして、真にその人の代謝を論ずる事ができるのだろうか。ここが力説された。

講演の結びでは、現状での対処事例として、長崎シーボルト大学の学生が自らの遺伝子の型を知り、科学的に自らの体質を分析し、健康維持に役立っている事が報告され講演は終了した。

最後に、聴講者としての大木の感想を添えたい。

長崎シーボルト大学の学生と示されたのは、管理栄養士課程の学生である。

現在の日本では、同様の研究を授業に組み込んでいる大学が少しずつ増えてきている。管理栄養士を目指す学生が自身の遺伝子の型を知り、自身の代謝と関連付け、科学的に分析し自らの食生活を管理する。この実践的教育は必ず将来の栄養指導に役立つと実感した。

管理栄養士の教育も変わりつつある。管理栄養士の免許を持つ私達も、遅れる事なく、時代の先端を共に走りたいと痛感した。

一般講演では、山梨学院大学より研究が発表された。発表要旨を講演集から抜粋し、紹介したい。

本県の会員による発表より抜粋

第54回日本栄養改善学会学術総会口演要旨

日 時：平成19年9月19日～21日

場 所：長崎市

短期大学生の骨密度に関する研究

－食物栄養専攻学生の骨密度に関する意識調査

及び食生活の現状－

山梨学院短期大学 食物栄養科

根 津 美智子、依 田 萬 代

【目的】

山梨県牛乳普及協会は業務の一環として平成17年から農林水産省と畜産産業振興機構、日本酪農乳業協会等の協力を得て若年齢層を対象とした骨密度測定を行っている。本短期大学でも希望学生に実施した。その際、食生活の実態状況と骨密度測定に関する意識調査を行ったので報告する。

【方法】

平成18年11月、本学的女子短大生食物栄養科150人に骨密度を測定した直後にアンケート調査を行った。

【結果及び考察】

学校以外でスポーツを行っていたかは中学校60%、小学校・高校では各45%、現在運動をしている学生は13%であった。

今回の骨密度測定に参加した主な理由は、自分が平均値に達しているか心配42%、食生活を見直すのにより機会

33%であった。現在の食生活に満足している学生は45%、していない学生は55%であった。

満足していない学生の理由は、栄養バランスが悪い54%、偏食33%、食物繊維が少ない31%などであった。また、乳、乳製品、小魚を意識して食べるようにしている34%、時々意識しているが36%であった。将来の骨粗鬆症を意識したことがある29%、時々意識する40%、意識したことがない31%であった。今回の検査を受けて食生活や生活面で改善したいと思うことは、乳・乳製品などのカルシウム製品を摂りたい54%、野菜をもっと摂りたい51%、睡眠時間を取りたい41%、多種類の食材を摂取したい37%、定期的に運動をしたい27%であった。骨密度測定の結果は、正常値に近くてよかった69%、ふつうであった20%、やや骨密度の減少がある11%であった。

【まとめ】

今回の骨密度測定を行った学生は食物栄養科の学生であったが、乳、乳製品、小魚を意識して食べるようにしている割合は、時々意識しているも含めると70%であったが、実際の食生活では小魚などの摂取は5割以上が月1～2回位摂取であった。この測定会は日々の食生活を見直すよい機会になったと思うが、運動と骨密度の関係についての知識はあまり伺えなかった。

新刊図書の紹介

最新刊

がん患者さんと家族のための

抗がん剤・放射線治療と食事のくふう

'07 11月上旬 全国書店で一斉発売！

静岡県立静岡がんセンター総長

山口 健／監修

静岡県立静岡がんセンター

日本大学短期大学部食物栄養学科／編

■AB伴 ■定価2,100円

お問い合わせ：女子栄養大学出版部 ☎03-3918-5411

これは便利！
2冊に分けて
使えます

食品成分表と



資料編を



＋ 栄養士のための常識用語（検査値編）＋

今月は、検査値です。病院や介護保管施設での NST 活動や栄養管理計画作成にも、すでに活用されているかと思いますが、利用度の高い項目を集めてみました。

用語例	意 味
Alb (アルブミン)	Albumin の略 肝臓で生合成され、臨床検査では肝機能や栄養状態の指標とされる（Alb という略号で表示されることが多い）。 また、血漿たんぱくの 60% を占め、内臓たんぱく量の指標ともされている。 血中半減期が 17 日～ 23 日と長いので栄養指標としての鋭敏さは劣るが、測定が容易である。
RTP (アール・ティ・ピー)	Rapid Turnover Protein の略（血液・生化学的指標） RTP には、PA：トランスサイレチン（プレアルブミン） ¹⁾ 、Tf：トランスフェリン ²⁾ 、RBP：レチノール結合蛋白 ³⁾ 、があり、これらはアルブミンと同様に肝臓で合成されるたんぱく質。 血中の半減期が短く代謝も早いので、栄養状態に鋭敏に反応する。 代謝動態が著しい患者の、内臓たんぱく質量の推定に適した指標である。
1) PA (プレアルブミン)	Preal bumin の略 そのほとんどが肝臓で合成される。血中濃度は肝臓での蛋白合成能の指標になり、腎機能障害時に増加し、肝硬変や肝炎甲状腺機能亢進症で低値となる。栄養状態や肝障害の早期診断に役立つ指標である。
2) Tf (トランスフェリン)	Trans ferrin の略 肝臓で合成される糖たんぱくで、血清鉄のキャリアたんぱく質としてヘモグロビンの合成や鉄代謝に関与する。 慢性失血、鉄欠乏性貧血で上昇し、慢性感染症や肝硬変、鉄過剰症、ネフローゼ症候群で低下する。
3) RBP (レチノール結合蛋白)	Retino1-binding protein の略 主に肝臓で生成される。腸管より吸収されたレチノールはいったん肝臓に貯蔵され、RBP と結合して血中に分泌される。半減期が 12 ～ 14 時間と短いため、短期間の栄養状態の変動を捉える有用な指標となり、術前の栄養状態の把握などにも用いられる。

◎血清たんぱく質での栄養状態の指標

	高度低栄養	中等度低栄養	軽度低栄養	正 常	半減期
Alb	2.0g / dl 以下	2.1 ～ 3.0g / dl	3.1 ～ 3.4g / dl	3.5g / dl 以上	17 ～ 23 日
PA	5.0mg / dl 以下	6 ～ 10mg / dl	11 ～ 15mg / dl	16 ～ 40mg / dl	2 ～ 3 日
Tf	100mg / dl 以下	101 ～ 150mg / dl	151 ～ 200mg / dl	201 ～ 400mg / dl	7 ～ 10 日
RBP				2.7 ～ 7.6g / dl	12 ～ 14 時間

参考文献：第一出版 メディカル管理栄養士のためのステップアップマニュアルより

☆ご存知でしたか？☆

日本栄養士会会員の管理栄養士・栄養士による業務上の損害賠償責任保険制度について

＜年会費から保険料が支払われ、平成 18 年 8 月から保険適用になっています＞

日本栄養士会では、会員を対象に損害賠償責任保険制度を創設いたしました。わかりやすくするために Q & A を作成したので、ご参照ください。不明な点があれば、日本栄養士会事務局までお問い合わせください。万が一の場合は、ご連絡ください。

Question	Answer
どのような場合に対象となりますか。	管理栄養士・栄養士である会員が、業務上行った結果が原因となり、第三者に身体障害や財物損壊を与え、損害賠償責任を負担した（問われた）時が対象となります。 具体的には、アレルギー患者に対して誤って除去食品を提供し、それが原因で、患者が重篤に至った場合。 食中毒の場合は、原因が業者の納品した食品に原因がある等は除きますが、原因が管理栄養士・栄養士の業務上にある場合。
保険料を払わなければならないのですか。	日本栄養士会は、管理栄養士・栄養士によって組織されている専門職能団体です。そこで、会員の相互扶助、さらには会員の起こした事故に対する社会的責任を果たすため、会費の一部をもって保険料を支払うこととしました。 非会員の方々にも、入会のメリットとしてお知らせください。
補償期間は、いつからいつまでですか。	契約は、平成 18 年 8 月から 1 年間です。この期間内に起こった事故が対象になります。
補償内容は、どのようなものですか。	賠償金は、1 事故 200 万円以内で、内容は下記のとおりです。 ① 法律上の賠償金：被害者の治療費・入院費・慰謝料・休業補償等 ② 訴訟費用：訴訟費用・弁護士報酬・仲裁和解・調停に関する費用等 ③ 訴訟対人費用：訴訟に関して支出した（裁判所に行った）交通費等
補償金額が 200 万円以上にならないのですか。	死亡事故の場合等では、200 万円以上の金額が必要となります。そこで、希望の方には、任意加入でお申し込みいただき、1 年間 2,200 円の保険料をお支払いいただくことにより、1 億円までの補償が付加されます。 詳細は、パンフレット（「栄養日本」11 月号に同封予定）をご覧ください。
事故が起きて、賠償を請求されたときは、どこに連絡すればよいのですか。	日本栄養士会事務局、または、下記の保険会社にご連絡ください。この場合、「日本栄養士会が加入している栄養士損害賠償責任保険」に関することとお伝えください。個人情報保護の観点から、お知らせいただいたことは公表いたしません。 ・(株)日本栄養士会事務局 TEL：03－3295－5151 ・取扱代理店 (株)サリー・ジョイス・ジャパン フリーダイヤル：0120－305－660 ・引受保険会社 三井住友海上火災保険(株) TEL：03－3259－6653
支払いの対象にならないのは、どのようなことですか。	・過失ではなく、故意に事故を起こした場合 ・会員の家族、財産等に対する損害賠償 ・その他、会員の著しい過失によって生じた場合 等

故 長田正五 先生のご逝去を悼む



長 田 正 五 先生

(日本栄養士会名誉会員・山梨県栄養士会顧問)

社団法人山梨県栄養士会

会 長 石 坂 恵 子

本会顧問 長田正五先生が、去る平成19年12月4日にご逝去されました。ここに慎んでお悔やみ申し上げ、会員の皆様にお知らせ致します。享年92歳（大正5年1月4日生）。

長田先生、先生は永年、山梨県栄養士会の顧問及び栄養士連盟顧問をしていただきました。

ひとことお別れの言葉を述べさせていただきます。

長田正五先生は、昭和9年旧制身延中学校を卒業され、物理学校応用科学科に入学されました。入学後、わが国で始めて創設された佐伯栄養学校にも入学、一日に物理と栄養学校の二校で勉強され、栄養学がおもしろくなったということで栄養士を目指すことを決められました。

終戦後、兵庫県庁に勤務され、昭和20年5月、日本栄養士会の設立後の初めての総会が兵庫県で開催され、会場も宿舍もない食料もない中で、大変な思いで総指揮をとられたと聞いております。その成功から厚生省に引き抜かれ、病院入院患者の食糧確保、栄養給与問題に奔走され、さらに栄養改善の指標として、世界各国から高く評価されています、現在の国民栄養調査の基礎を築くと共に、栄養士法、栄養改善法、調理士条例、調理師法など数々の法律制度制定に力を注がれました。

昭和28年から20年間にわたり山梨県職員として、県民の栄養改善を推進され、また、県内調理師組織の育成と栄養改善推進員の養成に大きな力を発揮されました。また、

飲食店等食品衛生行政等の発展に尽力され、日本食品衛生協会から感謝状を受けられました。

また、麦・豆腐・豆乳など栄養強化食品の研究と製造に関心を持たれ、関係業界の発展に寄与されました。

昭和48年から日本栄養士会山梨県支部の副支部長として、深山会長と共に栄養士の指導育成、県民の健康作りにご活躍され、栄養改善功労者として日本栄養士会長表彰、山梨県知事表彰、厚生大臣表彰も受けられました。

先生は、「栄養士法」「栄養改善法」「栄養士養成施設」「管理栄養士制度」の創設に努力され、今の栄養士という職業を作っていただいた大先輩であると同時に大恩人です。

先生のやさしく、ほほえみに満ちたお顔と独特な語り口に我々はいつも癒されていました。これからは、二度と接することができないと思うと、一層懐かしさと悲しさがこみ上げてまいります、先生の教えを守り、栄養士会の発展に会員一同努力してまいります。

先生の在りし日を皆様と共に偲び、ご功績をたたえと共に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

平成19年12月4日

職域部会のコーナー

学校健康教育部会

食育推進に向けて

韭崎西中学校

秋 山 知 子

食育基本法を受け平成17年4月から栄養教諭が配置され、全国で約1009名が誕生しました。栄養教諭は、教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持つ職員として、学校給食を生きた教材として活用した効果的な指導を行うことを期待されています。

しかし、学校における食育の中心的な役割を果たすことが期待されているにもかかわらず、栄養教諭の配置は全国的に進まず、本県でもやっと今年度5名の採用となった現状で、まだまだ十分ではありません。そこで、今年度は部員一同、

- 学校給食の実践者
- 食生活アドバイザー（児童生徒の食生活に関する個別相談や、教職員・保護者の食生活に関する個別相談）
- 学校・家庭・地域社会の食生活のコーディネーター
- メニュープランニング

として、資質の向上を目指し、日々研鑽を積んでいくことを確認し、食育推進の研修を行っています。

また、残念なことながら、平成18・19年度と続いて、学校給食から食中毒が発生しており、教材となる学校給食の信頼を大きく揺るがすこととなりました。そのため、急きょ部会として、最新の食中毒予防の手引きを部員に配付し、学習会などを通じて各自の施設の衛生管理の徹底を呼びかけています。

行 政 部 会

「生活習慣病予防のための標準的な健診・保健指導に関する企画・評価研修」(第2ステップ)

峡南保健福祉事務所

杓 川 洋 子

平成20年度から、「生活習慣病予防のための健診・保健指導」を医療保険者が実施することとなり、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群を25%減少させることを政策目標として掲げています。この目標達成に向けて、確実かつ効果的な健診・保健指導を実施していくことが必要となりました。

これを受けて、社団法人日本栄養士会では、都道府県、市町村さらに医療保険者が健診・保健指導事業の企画・立案・評価を行う際に必要な能力を養成することを目的に全国7ヵ所で研修会を開催し、山梨県からも、保健所・市町村の管理栄養士・栄養士が多く受講しました。

東京会場は、8月4日～5日に昭和女子大学において開催されました。定員が一杯だったため、今後さらに、平成20年1月13日～14日にも昭和女子大で開催されます。

研修内容

<1日目>

講演「医療制度改革の目的と概要について」

講演「特定保健指導の実践 ―対人サービスの実務―」

講演「健診データ・レセプト分析から見る生活習慣病管理（基礎編）ケーススタディ」

①埼玉県三芳町保健センター、②神奈川県伊勢原市健康管理課

パソコン演習「健診データの分析のための技術」

(仮想データを用いた階層化の演習)

講演：「健診データ・レセプト分析から見る生活習慣病管理（実際編）」懇親会を兼ねてグループワーク（都道府県・市町村に分かれて）

<2日目>

講演：「特定保健指導の実践 ―事業の組み立て―」

演習：グループワーク「効果的な健診・保健指導の進め方」都道府県：

I) 健康増進計画における生活習慣病対策の課題の整理、疾病構造の読み込み、県の疾病特性の明確化等から、都道府県生活習慣病対策計画案の作成、都道府県の役割を明確化・具体化し、地域の対策案の把握、市町村が求める支援は何かを発表する。

II) 地域における、健診体制と保健指導の体制を確認し、ハイリスクアプローチ事業と連携したポピュレーションアプローチ事業計画、都道府県・保健所の地域保健指導支援計画案の作成

市町村：

I) 地域の疾病構造の抽出、地域の疾病構造の分析、地域特性の明確化から、対象者の把握、レセプトの読み込み、改善方法の整理、地域保健指導計画案の作成を発表

II) 地域における、健診体制と保健指導の体制を確認、活用できる地域人材、アウトソーシングの是非、アウトソーシングする場合の環境整備と進行管理・評価方法の理解、ポピュレーション・ハイリスクアプローチ事業の役割分担

それぞれ、I)、II)についてパワーポイントに作成し、発表しました。

どのグループも、仮想の都道府県、市町村を作り、他県の栄養士・管理栄養士さん達と熱心に討議し、素晴らしい計画を作成し、プレゼンテーションしていました。

研究教育部会

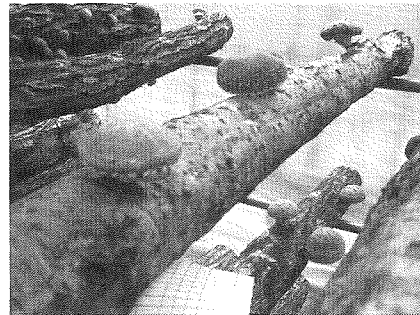
山梨学院短期大学

中 川 裕 子

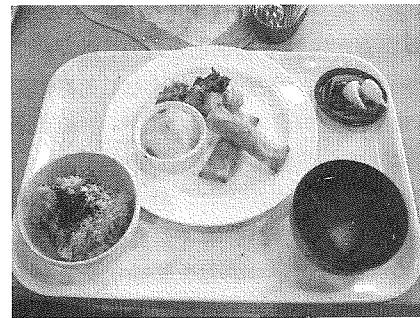
19年度の主な活動として、研究教育部会研修会を、平成19年3月22日に開催しました。研修場所は「富士種菌」：南アルプス市有野にて、キノコ栽培試験圃場の見学と各種キノコの官能評価、並びに「榎アルソア」：北杜市小淵沢町にて、施設見学と有機栽培食材を用いた昼食献立の試食を行いました。

キノコ栽培の現状と市場動向を伺い、品種改良を施した栽培キノコ数種類を、実際に官能評価を行うという、大変貴重な機会を得ました。また、有機栽培食材を用いた昼食献立は、玄米ご飯や、地元特産の野菜をふんだんに盛り込んだ、ヘルシーかつ栄養バランスのすぐれた満足度の高い試食会となりました。新しい献立提案のヒントとなる有意義なものでした。〔写真参照〕

また、平成19年8月25日には日本栄養士会全国研究教育栄養士協議会にて、山梨県が関東・甲信越・京浜ブロック研修会の当番県に当たり、さまざまな準備に取り組みました。教育内容の充実と会員の資質向上を図ることを統一



テーマとして、「カリキュラムの課題と今後の展望」に沿った研修会を目指し、埼玉県坂戸市にあります、女子栄養大学を会場とし、「EBNの理論と実例—情報の収集法と見極め方を中心として—」東京大学大学院教授 佐々木敏先生のご講演と、シンポジウム「保健・医療・福祉分野における教育の取り組み—現状と課題—」並びにパネルディスカッションの開催をいたしました。本学からも8名の教員が参加しまして、今後の研究・教育への姿勢を改めて認識させられる、有意義な時間を過ごすことができました。



集団健康管理部会

集団健康管理部会施設見学会・研修会開催される

ホテルデュッセルブルー

大 木 由 枝

平成19年度集団健康部会施設見学会・研修会が下記のように開催された。

日 時：平成19年11月16日（金）

12時45分～17時20分

場 所：北杜市立甲陽病院

見 学：北杜市立甲陽病院NST活動

研 修：講 義：NST活動について

講 師：外 科 医 長 中瀬 一 先生

薬 剤 師 浅川浩樹 先生

管理栄養士 堀込かずみ 先生

初冬の午後、穏やかな天候に恵まれ充実した研修が無事終了した。

症例検討会であるランチタイムミーティングでは、術後と褥瘡それぞれの患者様に対して、個々人の一週間の状態が看護師を通じ紹介され、最新の生化学検査値の報告、体



重の増減、行動係数及びストレス係数の確認、算出された必要栄養量と給与栄養量の比較が、全職種での意見交換にて行なわ

れた。

現状確認の後、今後一週間の目標が定められ、目標を満たす給与栄養量を検討し決定してゆく。栄養管理

を中心とした治療方針検討には、エクセルを使用したオリジナルのスライドを使い、データの共有のもと、それぞれの専門職としての見解が活発に交換され、まさしく、チーム医療とはこのようにあるべきだと感激した。

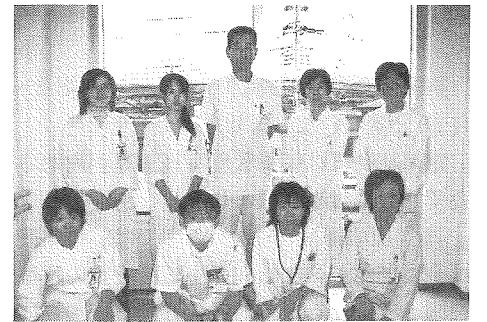
また、ミーティングのリーダーとして、我が栄養士会の同胞、管理栄養士 堀込かずみ氏の活躍が輝いていた事は、同職種として大変うれしく感じられた。

病棟訪問でも、職域を越えた連携プレイが感じられ、栄養管理による体力の快復や褥瘡の治癒をスタッフ全員の喜びとして、患者様中心の医療が目前で展開されてゆく事に心を打たれた。

研修の最後に設定して頂いた講義では、NSTとは何か、NSTがなぜ必要なのか、ご説明を頂き、質疑応答も充実し、大変勉強になった研修会であった。

参加者から「入院するならば、この病院がいいかな。」などの声が聞かれた。

この言葉は、北杜市立甲陽病院のスタッフの姿を物語っていると感じた。



地域活動部会

秋 山 めぐみ

新役員で始動してからまもなく2年が立ちます。「より多くの会員の参加により部会を活性化していこう」を目標に本年度も様々な活動を展開しています。

1. 医療改革の波に対応すべく昨年より始まった部会主催の学習会が、今年度も4回シリーズで始まりました。昨年の反省も踏まえ、より具体性を持ち、より身近な疑問を捉えていこうと計画されました。

第1回 「糖尿病の食事管理」

中里 稔 先生（中里内科クリニック）

第2回 「特定保健指導プログラム」に添ったロールプレイング

第3回 「命の授業」

新藤 京子 先生

「児童心理について」

小尾美恵子 先生

第4回 他職域の現場、学習会への見学、参加

保健所及び他部会の会員の皆様にもご協力をいただきな

がら、学習し、情報を共有し実りあるものにしていきたいと思います。

2. 出前栄養相談事業は、4年目を迎え、構成、媒体を新しいものにしました。特に媒体は「野菜のパティー」を裁断から縫いつけまですべてを会員の手作りで仕上げました。郷土料理や子ども達の好きな料理も作ろうと活発に活用されています。

3. 農林水産省「につぼん食育推進事業」に参画しました。榎オギノ主催の食事バランスガイド普及イベントに協力し、バランスガイドの説明、バランスガイドを使つての食事指導、食育マットと料理カードでのバランスガイド体験など、また会員手作りの布製バランスガイドや三色トーマスも展示し、会員の活動の紹介をしました。

医療改革だけでなく栄養士を取り巻く環境すべてが大きく変化している昨今、求められる環境に自覚をもって対応できるよう、会員各自が切磋琢磨し考えていくことが部会活性につながっていくと感じます。

病 院 部 会

竜王共立診療所
小 淵 正 子

病院部会では平成19年度部会定期総会・栄養研究会を4月28日開催いたしました。

定期総会では栄養管理実施加算が開始されて初めての総会で熱心に討議されました。

18年度の総括（特徴）の中では診療報酬の大幅な切り下げや委託化が増加傾向の中で治療食の水準のレベルアップを図ってゆけるのか、栄養管理実施加算に対して診療報酬の返還命令を受けた全国での施設の報告と山梨県内での実施状況や、また「委託会社の管理栄養士が栄養指導できる」ような動きもあるとの報告を受けました。

事業方針ではこれらの厳しい情勢を乗り切ってゆくにはなんといってもスキルアップを図ることが何よりも大切だと確認がされました。

栄養研究会では経腸栄養剤とろみ剤の試飲会が持たれ10社にも及ぶ業者の皆様のご協力をいただき成功することができました。夫々各項目に沿って評価を行い投票いたしました。その結果を集計して12月8日の県栄養士会の研究発表会に演題を提出いたしました。

また7月26日夜間にDVD鑑賞を実施しました。テーマは「NSTにおけるアルギニンの使い方・その理論と実際」で「平成19年2月8日の第22回日本静脈経腸栄養学会ランチョンセミナー」の収録です。講師はNSTといえばこの人を知らない人はいないほど高名な、そう、この人です。東

口高志（藤田保健衛生大学医学部外科学・緩和ケア講座教授）でした。ノヴァルティスのご協力により開催できました。夜間にもかかわらず多くの会員が参加してくれて「アルギニン」がNSTにとって人気者になることと思われました。

同時に「全国病院栄養士協議会代表者会議最新情報報告」と第2報「栄養管理実施加算の実施状況と課題」診療報酬を返還した事例等について報告があり質問も出されて有意義な学習会でした。

今後の予定は12月15日（土）18時から獨協医科大学・越谷病院の鈴木孝知先生を招いて「患者にとってよりよい肝臓病栄養治療を实践するために」―栄養士の役割と栄養管理のあり方―について講演会を開催します。場所は小瀬武道館で行います。

さらに平成20年2月9日（土）14時から春日居ビューホテルにて山梨大学医学部 社会医学専門の山縣教授をお招きして「特定保健事業とは何？」について詳しくやさしく解説していただけます。さらに「栄養士・管理栄養士に期待すること」やご専門の社会医学についてお話していただける予定になっていますので皆様のご参加をお待ちしております。

この事業は関東ブロック病院栄養士協議会が開催するもので今年度は山梨が担当することとなっておりますので会員の皆様のご協力をお願いします。

福 祉 部 会

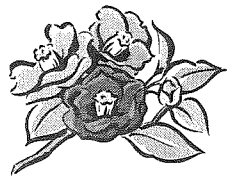
介護老人福祉施設トリアス
齋 藤 正 治

本年度は昨年以上に福祉関係の法律等が新たになり、改正介護保険法の見直しに向け、施設の栄養ケア・マネジメントのスキルアップをより質を担保する事と実施率の向上を図りました。福祉会員の結束と、きめ細かい研修を実施しています。日栄・全国福祉（協）では、老人から高齢にと名称変更がなされました。

高齢福祉栄養士は4月に総会・研修会を「びゅあ総合」視聴覚室を借り実施し、52名の参加者がありました。5月には地区代表者会議（各保健所単位地区）を実施、活動計画等を話し合い各支部単位にミニ研修を実施する事としました。7月にはスキルアップ研修：NCMにおける栄養ケア・マネジメント「びゅあ総合」2F研修室で実施、50名以上の参加がありました。全国の専門研修は各地区支部内で1人以上出席し、支部単位に昼または夜のミニ研修を実施しています。専門研修出席者よりポイント情報伝達をしたり、進行中の疑問や作成上のテクニック等の今取り組んでいる疑義の意見交換を1時間半～2時間近く勉強会を実施しています。

障害福祉栄養士も合同合流して研修しています。障害者自立支援法の施行に伴い、在宅障がい児（者）の支援等にも対応出来る様にスキルアップ研修をしています。

児童福祉栄養士活動は乳児保育の食育マニュアルの作成と普及活動及び児童福祉施設の食育を効果的に実践する為、離乳食計画に基づく食育マニュアル作りや、乳児保育に於ける栄養指導の質の確保に向かって邁進しています。そのほか「園児の食事ケアについて」の研修や「ミニパーティーを楽しむ」調理実習研修等、実施しました。



私達ががんばっています！

会員の皆様から「私達ががんばっています」というテーマで

- ①自己紹介・職場紹介
- ②主な仕事内容
- ③仕事で「うれしかったこと」「つらかったこと」など
- ④現在取りくんでいること
- ⑤栄養士に思うこと 等を今回は病院部会・福祉部会（老人・児童・障害）より書いていただきました。

山本貴子（りほく病院）

病院部会

療養型の92床の病院で仕事をしています。

卒業後20年近く経ってから一人職場に就職し、右も左も分からぬまま栄養士誕生以来の大変革の波に飲み込まれ、無我夢中でやってきました。勉強しようにも何をどうして良いかも分からず、手当たり次第に講演会研修会と毎週のように出かけ、チーム医療のセミナーや学会セミナー等も何十回も受け、通称“足立塾”の通信添削での検査値を読む栄養指導（足立先生が直に点数をつけてくれます。）の予防・治療編を受け、JASPENや病態栄養学会の学会誌やガイドライン、ガイドブックを読んだり、中村丁次会長の食事栄養療法必携や、足立先生の検査値に基づいた栄養アセスメントとケアプランの実際、東口先生のNST完全ガイド、聖隷三方原の栄養ケアマネジメントマニュアルetcどれも辞書代わりに手元に置いて年中使用している身近に欠かせない本です。そして、生涯学習で山梨に来ていただいた林静子先生のやはり療養型の湘南ホスピタルにNCMの実際を総師長、薬剤師さんと共に見学に伺い、給食現場から病棟までの見事な連携プレーを目の当たりにし、これを目指して頑張らなければと決意を新たに致しました。きわめつけは味の素ファルマのバーチャル栄養カレッジです。皆さんご存知ですか？ネットで検索するとすぐ出てきます。入学試験がありますが、落ちても入れるので是非トライしてみてください。生化学から最先端の栄養治療までとても幅の広い奥の深い内容で、それぞれの講座に試験があり、一つずつクリアしてゆくの、醍醐味になってきますヨ。

最近では療養型には特に多い摂食嚥下障害に取り組もうと、摂食嚥下リハビリテーション学会初め、藤島一郎先生の脳卒中の摂食嚥下障害、嚥下障害DVD8巻、藤谷順子先生金谷節子先生林静子先生の嚥下障害食のつくりかた、嚥下障害UP-TO-DATE等を読んだり、山梨お口とコミュニケーションの会に入ったりしています。

来年はNST専門療法士を受験しようと奮闘中ですが、かなりの難関とのことで、もっともっと頑張らねばと思う今日この頃です。来年は国際栄養士会議もありますが、アメリカやヨーロッパの栄養士に負けないように頑張ります！

田村礼江（しおかほ福寿の里）

福祉部会（老人）

①自己紹介

一般企業に勤めていた私が栄養士として再出発したのは今から1年半前のことです。

その頃、介護保健法の改定に向けて、栄養ケアマネジメントの研修が行なわれていた時期でした。そうした大きな流動期に幸か不幸か飛び込んだのでしまったのですが、当時は周囲があわただしく動いているなぁと感じてはいても実感のないまま改定の10月に突入してしまいました。

②主な仕事内容

当施設は入所定員70名、通所定員20名の介護老人保健施設です。また、ベッド数108床をもつ塩川病院の併設施設であり、栄養科は2施設の給食管理・栄養管理を先輩栄養士と2名で行なっています。8月より、託児所が開設し数名ではありますが離乳食の提供もスタートしました。

③うれしかったこと つらかったこと

栄養ケアマネジメントなど書類や数字に追われる日々の中で、食事を食べてもらえない、栄養バランスが悪いなど、目の前の問題にとらわれすぎて本来あるべき「食を楽しむ」事を見失いそうになります。私たちは利用者様のあるべき姿、できる限り健やかで豊かな生活を支援していくことが大切で、そんな時は栄養士としての未熟さを痛感するときがあります。それでもいくつかの失敗や変わらない状況の中から結果が見えてきたときには、こんな私でも利用者様のお役に立てたのだと次への意欲に繋がります。

④今後の抱負

技術も知識もまだまだで、先輩方や周囲の方々に支えてもらう苦難の毎日ですが、新しいことに少しずつチャレンジしていき、栄養士として周囲の方々や地域の皆様のお役に立てるよう、また食の楽しみを伝えられるよう前進していきたいと思います。

藤巻藤子（南アルプス市大明保育所）
福祉部会（児童）

南アルプス市は6ヶ町村が合併して4年8ヶ月になります。

私は、大明保育所に席を置き市内統一献立ということで、16保育所を巡回指導しています。

施設によっては調理器具の違いから手造りしたくても出来ないなどの問題点も出てきて慣れるまで大変だったと思います。又、月に1度栄養士2名と各保育所の給食担当者と、代表の所長先生を交えて給食献立検討会を行って活発な意見交換をしています。

新しいメニューを毎月取り入れて、それについて出来る範囲で担当者を集めて調理実習を行っています。今年はアレルギー代替食をメインにやってみました。成るべく多くの人に参加して欲しく、3時30分頃から始めますと思うようなものは作れませんが、それでも4品ほど作りました。交流の出来、横のつながりも出来るのでとてもよいです。

献立は1ヶ月ごとのメニューで季節の食材を使い、行事食を取り入れています。時代の流れの中で、ファーストフードが主流の家庭の食事から、保育所では山梨の昔からの伝統食である、ほうとうやすいとん汁など子ども達に暖かさを伝えていきたいと思います。

生活習慣病を考えたとき、保育所では出来る限り手作りでできるものは手作りで、また幼児期の思い出に残るような食事作りに頑張っていきたいと思います。

又、今年度より保育士4名と食育検討委員会を立ち上げ、月に一度集まって南アルプス市の食育全体目標を決め、食育のパネルシアター作りをしています。仕上がりましたら、各保育所巡回の折などに活用し、今以上に子ども達の食への関心を高めていきたいと思います。



広瀬美雪（知的障害者更生施設「向徳舎」）
福祉部会（障害）

知的障害者更生施設「向徳舎」に勤務している広瀬美雪です。

向徳舎は障害者支援施設として現在入所利用者52名・短期入所・日中一時支援・生活介護・福祉有償運送等の事業を行っています。

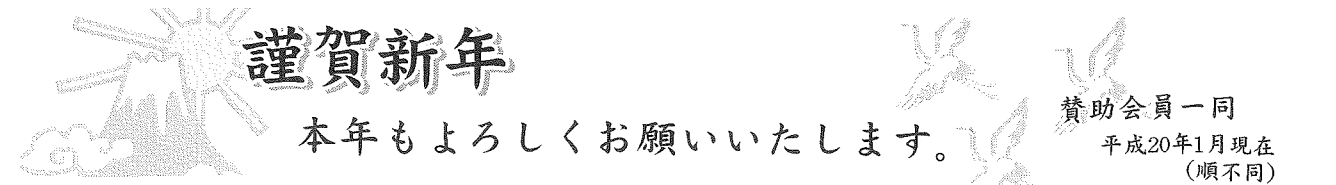
利用される方は、下は3歳から上は現在60歳と幅広く、3食365日の食事は美味しく食べ易くは勿論、利用者の機能や状況に合わせています。主な仕事は、献立作成や支援と厨房の連携・食数や書類の管理・身体状況や食事形態の把握・衛生面での補足支援等ですが、今まで病院や企業にいた私は、抱いていた栄養士像がここでは良い意味で打ち砕かれました。白衣を着て厨房や事務所に居るばかりではなく、普段着で利用者さんと触れ合い、時には支援に加わりながら、体調や嗜好を感じ取って料理に反映させたり、一緒に献立やイベントの料理を考えたり、お料理クラブでは利用者と調理もしています。

障害を持った利用者との意思の疎通は困難な時もあり、咀嚼・嚥下の問題に限らず、早食いや偏食・拒食、手掴みでの喫食や他人の食事の盗食など、始めのうちは躊躇してしまう問題もありました。しかし向徳会で5年目を迎え、日々コミュニケーションをとりながら一人一人の個性や嗜好を理解し、試行錯誤しながらも進歩しているのではないかと思います。やはり食べる事への関心は高いので、利用者の声や反応を楽しみながら働いています。

現在の課題としては、料理や食堂にどれだけ家庭の雰囲気を出せるかという事と、手洗いをしっかり行ってもらう事に特に力を入れています。ここでの栄養士は、バランスの良い食事を提供するだけでなく、心身共に健康で暮らしていけるように、体調管理や衛生面での心配りを、触れ合いと愛情を持って行う事が大切であると感じています。

福祉部会（障害）に所属している施設では、厨房に委託業者が入る所が多くなり、栄養士を取り巻く環境も変わりつつあります。

これから自分がどう施設に貢献していけるか、スキルアップしながら努力している諸先、輩方には頭が下がる思いです。私も皆さんを見習って更に頑張っていきたいと思いました。



社名	電話	担当	業務内容
エコア株式会社	055-241-1755	相川 秀樹	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	055-222-1153	高石 俊二	食器、厨房機器
⑩ 上田屋	055-266-2331	上田 昭雄	ソフクリーン、もずく
大塚製薬甲府出張所	055-276-8581	橋爪 速水	ポカリスエット、ネイチャーメイト
オギノ食糧㈱	055-222-5181	深沢 千恵子	給食材料
㈱オズプリンティング	055-235-6010	丸山 健	印刷、出版、紙工
㈱三和化学研究所甲信支店	0263-36-1771	加藤 文雄	サンエットA・サンエットL・サンゲンラクト
キューピー㈱東京支店	03-3486-4033	高橋 幸江	ジャネフ、ヘルスフード
甲信食糧㈱	055-273-4561	茅野 治行	食品材料卸
シキシマ醤油㈱	055-273-6844	小林 秀男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信濃化学工業㈱	0262-43-1115	山田 芳嗣	食器、トレイ
㈱テンヨ武田	055-266-5251	広瀬 潔	醤油、給食材料
㈱日新厨房企画	055-273-3881	杉本 哲史	厨房企画設計管理
㈱はくばく	0556-22-8921	長沢 琢美	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
宮坂醸造㈱	055-241-8181	池田 和生	味噌
湊興㈱	055-226-3742	小野 謙一	鮮魚、煮貝
㈱マルハチ村松	054-622-7371	千田 幸一	鯉の素、だしの素
山梨ヤクルト販売㈱	055-237-8960	保坂 憲夫	健康科学ヤクルト
北沢産業株式会社甲府支店	055-226-2800	手塚 清	厨房設計管理
第一出版株式会社	03-3291-4576	加藤 友昭	栄養、調理関係書籍
三信化工株式会社	03-5405-7688	宇梶 純平	メラミン、ポリプロ食器
三島食品㈱東京支店	03-3317-1212	鈴木 健	ふりかけ、レトルト食品
㈱H+Bライフサイエンス東京支店	03-5285-0562	二宮 通弘	特殊栄養食品、低エネルギー食品『マービー』
㈱マインド	03-3498-3024	松井 忠	カルライス、粥のもと、白粥
鍋林㈱甲府営業所	055-223-0440	市川 孝也	保温食器、液状栄養食品
テルモ株式会社	080-1005-7558	伊藤 辰男	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛工業㈱西東京営業所	042-675-8811	晝間 和彦	羽毛布団
東京サラヤ㈱八王子営業所	042-660-0521	嶺岸 隆仁	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日清医療食品㈱中部支店	026-269-6700	霍田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食シリーズ
㈱ジャパンメデイカル	055-222-1121	篠原 幸生	臨床検査委託、医療、資材販売
㈱岩崎	03-3732-3177	藤田 一博	食生活、栄養指導用フードモデル製造、販売
味の素ファルマ株式会社	055-221-8581	小林 正人	輸液、医療用食品の研究開発、販売
㈱クリニコ	042-590-1506	矢崎 浩子	病態栄養食品の普及、販売促進
東洋システムサイエンス	045-451-3191	里山 寿実枝	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
㈱オオキ	055-273-6644	芦澤 秀雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
㈱ユウシステム	055-223-3085	山口 竹夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機器販売
明治乳業株式会社	055-273-7071	志村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
ノバルティスニュートリション株式会社	03-5323-8390	岡田 元彦	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
株式会社フタバ	0256-33-2451	古川 斉	けずり節・だし粉末・その他食材製造・販売
花王カスタマーマーケティング㈱東京支社食品部	03-3297-6348	早川 香織	花王製品の販売
カルピス株式会社東京支店	03-5722-5211	佐藤 康彦	飲料料品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	杵戸 真一郎	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大陽食品株式会社	055-224-5415	新津 齋	業務用総合食材、老人医療用食材卸

☆ 賛 助 会 員 名 簿 ☆

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
東京電力株式会社山梨支店	055-270-2601	河 野 敏 仁	電気事業（業務用電化厨房推進活動）
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	業務用洗浄剤、殺菌剤の製造・販売
株式会社 せ ん だ い	055-262-1170	伊 藤 孝	納豆の製造販売
グリコ乳業株式会社関東支店	042-522-8588	品 川 明 治	牛乳、乳製品等の製造、販売
株式会社 丸 泉 漆 器 店	03-3704-4831	大久保 和 子	病院・施設用食器の製造・販売
新日本法規出版株式会社	03-3269-2169	川 口 隆	法規関係図書出版・販売
カゴメ株式会社東京支社	03-3861-7011	木 内 伯 美	食品・飲料製造販売

事務局からのご案内

会費の納入について

☆銀行振込みの場合

山梨中央銀行甲府駅前支店
(普通) 287296
(社)山梨県栄養士会

手数料 (ATM扱) (窓口扱)

山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	105円	105円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	105円	315円

☆ゆうちょ銀行振込みの場合

口座 10890-11752671
(社)山梨県栄養士会

手数料

通帳から振替る(窓口扱)	140円
通帳から振替る(ATM扱)	無料 (平成20年10月まで)
現金を窓口で振込む	525円

～会費は自動引落として

お願いします～

◎個人口座より自動引き落としの場合

手数料

山梨中央銀行	105円
ゆうちょ銀行(旧郵便局)	25円

会費 継続会員 12,500円
新入会員 13,500円

内訳

日本栄養士会費	5,300円
山梨県栄養士会費	6,500円
日本栄養士連盟会費	700円
新入会費	1,000円

事務局の年末・年始について

平成19年12月28日(金)～平成20年1月4日(金)まで休みます。

編 集 後 記

夏の暑さからすがすがしい秋を迎え、あっという間に新年を迎え歳月の過ぎる早さをひしひしと感じています。

新年号発刊にあたり、お忙しい中、執筆にご協力いただいた方々、ありがとうございました。

来年も編集委員一同、魅力ある情報が提供できるよう努力いたします。(石坂)

◎編集委員

矢崎圭子 大木由枝 香川洋子 秋山めぐみ 石坂恵子

栄養士会ホームページを活用して下さい

会員や県民にお知らせしたい情報がありましたら、栄養士会までご連絡下さい。

内容を検討して、ホームページに掲載させていただきます。

●栄養士会ホームページ会員ページへの入り方

ユーザー名 yamaei

パスワード 1985fukayama

栄養やまなしNo.86 平成20年1月1日

発 行 所 社団法人山梨県栄養士会

〒400-0031 甲府市丸の内1-10-5

T E L 055-222-8593 (FAXも可)

055-222-8140

http://www.eiyouyamanashi.com/

印 刷 所 (株)オズプリンティング

〒400-0032 甲府市中央3丁目8-10 TEL055-235-6010代